

	号外	定価 1部 2円	職場改善は一部前進あるも人員・会計年度職員課題等は継続に。引き続き実感できる改善に向け結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

## 2019確定闘争⑩ 最終局面・11.8県職労総務部長交渉

# 総務部長「県職労意見反映し改善」示す

## 人員確保 欠員解消に向け努力・行政需要踏まえ人員配置を判断

## 超勤課題 実績支給は当たり前・12月増額補正へ

## 「会計年度任用職員」個別業務状況確認し適正配置努める・継続交渉課題に

11月8日、県職労は人員確保、超勤課題をはじめとした独自課題の改善に向け、最終局面となる総務部長交渉を行った。これまでの人事課長交渉では、課題認識を示すも具体的改善として不十分であったことから、総務部長としての具体的な改善姿勢を強く求めた。県職労独自課題に係る交渉結果は、次のとおり。



総務部長の姿勢を質す県職労交渉団

【交渉結果】給与改定に関連し、臨時・非常勤職員の賃金改善に関し、「職員の給与改定に準じて行っており、今年度も見直しを行う予定」とした。人員確保は「結果として欠員解消まで至っていないことは申し訳ない」と釈明し、欠員解消に向け引き続き努力すること、各部署の定数増要求に関し、「現場実態を踏まえて適正な人員配置を検討し、判断」との姿勢を引き出したことから、交渉団から各職域課題（税務職員・職業訓練指導員配置、運転技士補充）を訴え、一層の対応を求めた。

超勤課題に関し「超勤上限設定・客観的勤務時間把握の趣旨を踏まえ、運用。実績支給は当たり前。予算で制約するすることは決してならないことは明言する」、「超勤予算の増額を12月補正で行うため、

現在精査中」との回答を引出した。交渉団から、実態を踏まえた予算配分を強く要請した。会計年度任用職員制度導入での任用・報酬水準面での課題には、「制度趣旨を踏まえ個別に業務の状況等を確認し、適正配置」と回答も、各現場では混乱が生じているとし、個別課題を含めて交渉継続を申し入れた。

大崎委員長から「人員・超勤は現場の切実な課題、改善を」と申し入れ、総務部長から「人員・超勤課題は適正確保に努める。今日の議論を踏まえ意見を聞いて改善」と応じたことから、会計年度任用職員課題を除き、今期交渉を終了した（交渉結果は裏面）。



回答する八重樫総務部長

## 1 高齢層職員の処遇改善

(県 職 労) 知事部局では約 290 人が現給保障満了で賃下げに。高齢層職員に報いる改善を。

(総務部長) 個々に着目した勤務意欲確保に向けて、主幹任用・勤勉手当の運用上の工夫などを継続する。部局と連携し対応しており、個々の職員に着目しながら取り組みを継続。

## 2 専門職員の処遇改善

(総務部長) 受験機会の拡大・インターンシップの実施で一定の成果。給与面の改善は人材確保の観点を踏まえつつ、国・他県均衡を踏まえ検討。

(県 職 労) 獣医師・薬剤師は辞退者が生じ人材確保が困難。賃金改善すべき。



薬剤師改善を・宮手中執

## 3 人員確保

(県 職 労) 来年度の採用規模は約 170 人と確認したが、台風 19 号災害も相まって一層の配置が必要。福祉・環境・農水・県土などの各行政需要に応じた増員を含めた人員配置を。

(総務部長) 欠員は徐々に減少しているが、欠員解消まで至ってなく、申し訳ない。欠員解消の取り組みは来年度以降も努力。行政課題に関して各部局からヒアリングを行いながら、適正な人員配置を検討。現場実態を踏まえて適切に判断。

(県 職 労) 一例だが、税務職場、職業訓練指導員(職業訓練校)などの各職域でも恒常的に人員不足、補充に向け検討を。運転技士の完全補充も強く求める。即戦力確保のため任期付職員の任期の定めのない選考採用枠の拡大も現場では切実な課題。あらゆる手段で確保するとの姿勢であれば、考慮を。

## 4 超過勤務課題

(県 職 労) 超勤上限設定や客観的勤務時間把握は職場環境改善のためだが、実効力ある対策となっていない。超過勤務手当の増額に向けた検討結果は。

(総務部長) 管理職が職員の勤務時間を客観的に把握するなどし、業務量の偏在の解消を図るよう徹底。超勤予算は台風 19 号災害への対応を含め増額を 12 月補正で行うこととし、所要額の最終的な精査中。

(県 職 労) 確保した予算が不足している各所属に配分されるよう求める。

客観把握をもとに人員配置や超勤配分するもので、予算制約で縛られることがないことを確認したい。

(総務部長) 実績支給は当然。予算制約を前提とすることは決してないことを明言しておく。



超勤改善を・口岩中執



中執発言を記録する総務部長(右)

## 5 住環境の整備

(県 職 労) 来年度定期人事異動を見据え、住居地確保が課題。一層の対策を。併せて公舎修繕を。

(総務部長) 重要な課題。異動により公舎不足が生じないよう事前に必要数を把握し、借上げ公舎により対応。住居の計画的な更新等にも配慮して取り組みを進める。

## 6 会計年度任用職員課題

(県 職 労) パートタイム原則で職場では混乱も。職種により賃金水準低下の話もある。改善すべき。

(総務部長) 制度改正を踏まえつつ、個別の業務の状況等を確認して適正な配置を検討。意見は承る。

(県 職 労) 個別の課題は山積。主要経費措置分の任用はじめ諸課題の交渉継続を(総務部長:了)。